

観光ビジネス学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	25	エアラインサービス
2年	60	法律入門
2年	66	旅行ビジネス実務

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
		●	●		

科目名	エアラインサービス				単位認定者	松崎 陽子		評価の方法	試験(レポート)	40 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	通年	単位数	2 単位		授業内課題等	40 %
				授業形態	講義	授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
						授業回数	15 回			

**授業の概要** 様々な空港業務のうち、主にグランドスタッフに必要とされる空港サービスの基本知識、接客スキル、ビジネスマナー、コミュニケーション力などを学び、空港におけるサービスマインドを身につける。

**到達目標**  
 ◇社会人にふさわしい行動を理解し、自ら考え行動することができる（言葉遣い/立ち居振舞いなど）  
 ◇社会人としての基本的な規律を順守できる  
 ◇「おもてなし」の大切さを考え、日常生活でも接客を發揮することができる  
 ◇自己理解を深め、自信を持って自己PRをすることができる  
 ◇グランドスタッフの仕事を理解し、職種研究を深めることができる

**学修者への期待等**  
 ◇積極的な授業への参加  
 ◇学修内容を各自で咀嚼して、自己理解を深める  
 ◇不明点について曖昧にせず、質問を通じて明確にする

回	授業計画	準備学修	担当
1	マインドセット	【事前】HPでANAグループ企業情報を確認し、ANAについて各自イメージしておくこと（概ね1時間程度）	松崎陽子 柳井美穂
2	印象力アップ I		松崎陽子 柳井美穂
3	印象力アップ II		松崎陽子 柳井美穂
4	ANAを知る～過去・現在・未来～		松崎陽子 柳井美穂
5	ANA's Way	【事前】ANA's Wayについて調べておくこと（概ね1時間程度）	松崎陽子 柳井美穂
6	言語化トレーニング		松崎陽子 柳井美穂
7	キャリア I～自己分析～	【事前】ライフラインチャートを事前に記入しておくこと（概ね1時間程度）	松崎陽子 柳井美穂
8	キャリア II～企業とのマッチング～	【事前】志望する企業情報を調べておくこと（概ね30分程度）	松崎陽子 柳井美穂
9	チームビルディング I		松崎陽子 柳井美穂
10	チームビルディング II		松崎陽子 柳井美穂
11	表現力アップ		松崎陽子 柳井美穂
12	ANAグランドスタッフの仕事を知る	【事前】グランドスタッフの具体的な業務内容を調べておく（概ね1時間程度）	松崎陽子 講師未定
13	グランドスタッフの対応力～基礎編～		松崎陽子 講師未定
14	グランドスタッフに求められるコミュニケーション力		松崎陽子 講師未定
15	グランドスタッフの対応力～実践編～		松崎陽子 講師未定

**教科書** ANAエアラインスクールテキスト一式

**参考文献** 『ANAの口ぐせ』『ANAの気づかい』『ANAの教え方』以上3冊 ANAビジネスソリューション・株式会社 KADOKAWA

**備考** 1日目の講義の前にオリエンテーションがあります。希望者のみ、福島空港において1泊2日の実務研修を実施します（~~宿泊研修：担当 小松義孝~~）。  
 授業内で取り組んだ課題などのフィードバックに関しては、講義の中で解説を行います。

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**  
 この授業ではCAの経歴をもつ実務経験者を招聘し授業を実施します。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HSO-04				
	●			●						
科目名	法律入門				単位認定者	鈴木 一樹		授業内課題（小テスト・提出物）等	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	20 %
				授業形態	講義	授業時間数	30 時間			
						授業回数	15 回			
授業の概要	社会生活をしていく上で必要な基本的な法律について学修する。特に日常の社会生活・大学生活に関係の深い様々な問題を取り上げて、問題点、解決方法、回避方法など、具体的な事例を通じて理解し身につけていく。									
到達目標	社会問題を考える際の土台となる法律の基本的な用語や概念を理解し、説明できる。身近な法律問題の学習を通じて、自ら問題を解決するための思考方法を養う。									
学修者への期待等	聞き慣れない用語や概念が多いと思いますので、復習を中心に取り組んで下さい。 法律用語と日常用語の違い、授業内で扱った事例や問題は、重点的に復習すること。その際、結論だけでなく理由も説明できるようにしておくこと。									
回	授業計画				準備学修					
1	法律の種類と法律を学ぶ意味									
2	憲法（1）基本的人権 ー平等権，精神的自由等ー				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
3	憲法（2）基本的人権 ー経済的自由，その他の人権ー				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
4	憲法（3）人権総括，統治機構				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
5	民法（1）総則				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
6	民法（2）物権				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
7	民法（3）債権（契約等）				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
8	民法（4）債権（不法行為）				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
9	民法（5）親族・相続				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
10	刑法（1）総論				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
11	刑法（2）各論				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
12	会社法（1）総論，株式				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
13	会社法（2）機関，組織再編				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
14	消費者法				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
15	まとめ（小テスト）				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
教科書	特に指定しない。必要に応じてレジュメや資料を配布する。									
参考文献	適宜講義内で紹介する。									
備考	講義は全て遠隔（オンデマンド）で実施する。15回目は教室で動画視聴してから小テストを実施する。講義内容は、進度に応じて変更する場合がある。各回の授業内課題については、その回で学んだことや印象に残ったことを記述したものとする（様式は特に問わない。LMSで提出とする）。また、授業内課題の評価については、この他第15回実施の小テストの結果も含むものとする。小テストの実施方法は後日連絡する。課題については、講義内でフィードバックを行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）**

公認会計士として上場企業等の法定監査，税理士として税務業務に従事

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-01				
		●		●						
科目名	旅行ビジネス実務				単位認定者	齋藤 幸一		試験(筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	旅行ビジネス全般についての理解を深めるとともに、商品ごとの仕組みや商品流通について学ぶ。旅行業界の歴史や業界をとりまく環境の変化・諸課題、旅行会社の業務内容全般、旅行業をとりまく観光関連産業や多様な職種について学習する。また、旅行商品のプランニングの手法を理解する。									
到達目標	出入国法令・海外旅行実務・国際航空運賃の各項目の知識を習得することで、総合旅行に関する理解を深めることができるようになる。									
学修者への期待等	遅刻・欠席等が極力生じないように注意すること。また、適宜予習および復習すること。									
回	授業計画				準備学修					
1	ガイダンス (授業の進め方, 評価など)									
2	出入国法令①旅券法				教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこと (概ね30分)。					
3	出入国法令②外国人の出入国管理				教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこと (概ね30分)。					
4	出入国法令③日本の出入国手続き				教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこと (概ね30分)。					
5	出入国法令④免税範囲と計算				教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこと (概ね30分)。					
6	出入国法令まとめ				出入国法令①から④を復習しておくこと (概ね30分)。					
7	海外旅行実務①2レターコード・3レターコード, ホテル・鉄道・クルーズ船の知識				教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこと (概ね30分)。					
8	海外旅行実務②海外保険, シェンゲン協定, 査証手続きの知識				教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこと (概ね30分)。					
9	海外旅行実務③時差計算, 所要時間の計算				教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこと (概ね30分)。					
10	海外旅行実務④空港の知識・航空時刻表				教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこと (概ね30分)。					
11	海外旅行実務⑤航空時刻表の諸計算				教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこと (概ね30分)。					
12	海外旅行実務まとめ				海外旅行実務①から⑤を復習しておくこと (概ね30分)。					
13	国際航空運賃①タリフの読み方, 計算ルール				教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこと (概ね30分)。					
14	国際航空運賃②往復旅行等の運賃計算				教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこと (概ね30分)。					
15	国際航空運賃まとめ				国際航空運賃①から②を復習しておくこと (概ね30分)。					
教科書	『旅行業実務シリーズ⑤海外旅行実務 出入国法令と実務 旅行実務』 JTB総合研究所 『旅行業実務シリーズ⑥海外旅行実務 国際航空運賃 旅行業英語』 JTB総合研究所									
参考文献	必要に応じて講義中に適宜指示する。									
備考	授業中はノートを積極的にとりつつ, 自分のオリジナルノートを作成するつもりで臨んでください。受講者の理解度により, 講義順序や重点の置き方を変更することがあります。また事前にテキストに目を通し, 授業に臨んで下さい。									

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)**

--